

2022. 3 月のブルーベリー農園その 3

19日から21日が3連休でブルーベリーの剪定作業を続けた。合間にブルーベリーの接ぎ木も試みた。安芸区から東広島市豊栄町のブルーベリー農園に車で1時間ちょっとかけて通っている。寒くなったり暖くなったり天気だが植物の葉も出て、花も咲き始めて景色がにぎやかさを増している。



3月19日（土）。
午前中は家の雑用があって一人で午後遅くなって農園に到着。雨が降ったり日がさしたりと天気安定しない。

3月20日（日）。
3段あるブルーベリー畑の一番上の段で剪定を続ける。真ん中はこの日にやっとすんだ。



上だけカップを着て作業。ブルーベリーの枝に雨のしずくがたくさんついていて陽が射すとキラキラ光る。

里山のちょっとだけある空き地に植えたクリスマスローズ。地味に花が咲いている。





午後 1 時間ほどブルーベリーの枝を燃やす。



燃やした後の熾火で焼きいもを焼く。小ぶりの芋を 3 つアルミホイルにくるんでやってみた。火が強いところはちょっと焦げたがおいしくできた。



3 月 21 日 (月)。
このブルーベリーの木は晩生の木だが早生のスパルタンという品種を接ぎ木している。根元から青く細い枝が出ているのは晩生の木なのでそれに早生のスパルタンを接ぎ木した。うまくつければ将来メインの幹になってくれる。使用したのはメダールというテープで

伸びて接着性もあるのでまくだけで済む。



隣の畑に菜の花がちらほら咲きだした。



剪定をしているブルーベリー畑の足元には種から増えたスイセンが葉を伸ばし蕾を伸ばしてきた。



この場所のスイセンは確実に株が増えて広がっている。

2022 年 3 月 23 日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良